

6/20(月)-7/3(日)

9時-17時 (最終日は12時まで)
入場無料. 会期中無休

亀岡市役所地下1階

ダンボール to アート展

開
か
れ
た
ア
ト
リ
工



出展アーティスト

澤田太晟

協力 日本紙業有限会社

令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業



HP



instagram

facebook



亀岡市資源循環推進課 環境 × 祭

ダンボール to アート展

家に荷物が届くたび、どんどん増えてしまうダンボール。
身近な存在だけれど、意外と知らないダンボールのこと。

ダンボールはどこから来て、どこに行くのか。

荷物を安全に梱包するだけじゃない、
ダンボールの魅力に触れてみませんか？

Attraction 1

澤田 太晟さんによる 巨大アート作品

嵯峨美術大学造形学科、一回生。
京都府立亀岡高等学校在籍中に、
不要になったダンボールを素材として、作品制作をはじめました。
代表作品「海」「朝寝坊」「ドア」の3作品を、本展でご覧ください。

Do you know how attractive we are?

Attraction 2

ダンボールQ&A

「わたしたちは、もっとダンボールのことを知りたいのだ。」

身近な存在であるダンボール。
受け取った瞬間に折り畳んで、回収の日を待つだけ…
それ、本当はとてももったいないかもしれません。
ダンボールは、どこからきて、どこへ行くのでしょうか。
知れば知るほど、簡単に「ぼいっ」したくなるはず。

How dare you
throw us away!

Attraction 3

澤田さんによるワークショップ 「ダンボール生物を作ろう！」

ダンボールを切ったり、曲げたり、くっつけたり、

いろいろな遊び方を発見しながら、小さな生き物を作りましょう。

日時 : 6月26日(日) 11時~16時 (随時受付)
場所 : 亀岡市役所地下1階 開かれたアトリエ
参加費 : 無料 (当日申し込み)

当日の状況により、お待ちいただく場合があります。

ダンボールは予め、いろいろな形に小さく切っており、
ハサミを使わずに工作できますので、小さなお子様も参加頂けます。
展示期間中、出来上がった作品を開かれたアトリエに展示いたします。

主催・お問い合わせ

かめおか霧の芸術祭実行委員会
事務局(亀岡市役所 文化国際課内)

京都府亀岡市安町野々神8番地
TEL 0771-55-9655(直通)
kirikameoka@gmail.com

かめのご学級・ふれあい学級・かめの会
みなさんの活動紹介と作品展

かめおか  の芸術祭 × 社会教育

アートで
つながる
あなたと
わたし

日時

8月4日(木) - 8月25日(木)

9時 - 17時

会期中無休 ・ 入場無料

場所

開かれたアトリエ

(亀岡市役所地下1階)

令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

かめのご学級・ふれあい学級 かめの会とは

かめのご学級では、知的障がいのある方々、
ふれあい学級では、視覚障がいのある方々、
かめの会では、聴覚障がいのある方々が、
社会参加、仲間づくり、地域の人たちとの交流を
目的に、さまざまな活動をしています。
工作、俳句、手芸、音楽、木工、料理、絵画教室
など、活動は多岐にわたります。

お問い合わせ・教室案内
亀岡市教育委員会社会教育課
TEL 0771-25-5054 (直通)



Homepage



facebook



instagram

かめおか霧の芸術祭とは

アートの力を活かした魅力あるまちを実現するために、
かめおか霧の芸術祭実行委員会が2017年から
取り組んでいます。
美味しい農作物を作る農家や船頭さんも「芸術家」であ
るという考えのもと、芸術作品の展示だけでなく、
一年を通していろいろな取り組みを進めています。
詳しくはかめおか霧の芸術祭HP、およびSNSをご覧
ください。

お問い合わせ



かめおか霧の芸術祭実行委員会
事務局(亀岡市役所 文化国際課内)

京都府亀岡市安町野々神8番地
TEL 0771-55-9655(直通)
kirikameoka@gmail.com

会場 開かれたアトリエ (亀岡市役所地下1階)



開かれたアトリエは、
かめおか霧の芸術祭の取り組みが、2020年に内閣府から自治体SDGsモデル
事業に選定されたことを機に、市役所地下のレストランをSDGs推進の拠点とし
てリノベーションしたスペースです。
土日祝を含む毎日9:00～17:00まで、どなたでもご利用できます。
(年末年始を除く)



展示内容 contents



作品展

かめのご学級、かめの会、ふれあい学級の方々が講師、指導員やボランティアのみなさんと一緒に制作した作品を展示します。
マスキングテープやマジックで装飾した木の貯金箱や絵画、紙で作ったアクセサリーなど、これまでの活動中に作り上げた、たくさんの作品を展示します。

ショートフィルムと写真の展示

かめのご学級での、森太三さん(木工作家)の木の家の貯金箱作りと、ペリーマキコさん(画家)の絵画制作の様子を撮影した、写真とドキュメンタリーショートフィルムを上映します。あわせて、日々の活動の写真も展示します。

ショートフィルム製作協力 亀岡市広報プロモーション課



主催 亀岡市・亀岡市教育委員会・かめおか霧の芸術祭実行委員会



ボンボンマルシェ

ボンボンマルシェは、「亀岡市内のモノ・ヒト・食」の「循環」をコンセプトに、地域に新たな循環を生み出し、愛着の湧く日々をつくるマルシェです。

8月21日(日)は「モノ」と「食」の循環をテーマに、使われなくなった素材や食材を使って新たな価値を生み出す、楽しい&美味しい企画を多数実施します。

「モノ」の循環では、誰かの使わないものを誰かの使うものに活用する「めぐる環 物々交換市」を行います。家に眠っている小型家電や雑貨、おもちゃ、本&絵本などをお持ち寄りください。好きなモノと交換したり、持ち帰ることもできます。

また洋服の循環では、着なくなった洋服をリメイク、アップサイクルさせるワークショップを開催。破けたりシミが付いたりして着なくなったけど、手直してまだまだ着たい洋服をお持ちください。

「食」の循環では亀岡産の有機野菜や果物を使ったランチ&スイーツや特製ドリンクをご用意してお待ちしています。

【内容】

- 1 亀岡産有機栽培の夏野菜でつくる特製夏ランチ&スイーツ
- 2 亀岡・丹波の果実から生まれた特製夏ドリンク
- 3 洋服の循環マルシェ『いとしうれしおなおい』
- 4 モノと本の循環マルシェ『めぐる環 物々交換市』
- 5 ワークショップ『生ゴミコンポストづくり』



【日程】 8月21日(日) 10時~16時

【場所】 開かれたアトリエ(亀岡市役所地下1階)、市民ホール(亀岡市役所1階)

【料金】 入場無料(ワークショップ等は一部有料)

【出店】 アトリエカフェ、&laboratory、Groove Doughnuts、KIRI CAFE、サルテン、他



かめおか霧の芸術祭
× 農林振興課
& 高齢福祉課

亀岡市役所地下1階
開かれたアトリエ
10月15日(土)・10月25日(火)
9時～17時
会期中無休 入場無料

みんなで

紡く

ドレス展

子どもたちが描いて

開かれたアトリエに集うみなさんと

ドレスをつくりました

1

子どもたちと 「やさいtoアート」ワークショップ



7月24日、亀岡市内のオーガニック農家さんに、その日の朝にとれた20種類以上のやさいを開かれたアトリエに持ってきていただきました。農家さんから、やさいや農業、それにまつわる環境の話聞きながら、やさいの断面図を見せてもらったり、触ったり、匂いを嗅いだりした子どもたち。いつもより、じっくりやさいに触れあって発見したこと、初めて見るやさいとの出会いに感動したことを、色を使って表現しました。7メートルの布の上に上がって、手や足に絵の具をつけて描いたり、霧吹きをつかってスプレーしたり…子どもたちそれぞれの自由な描き方で、色とりどりの作品ができました。



2

ドレスに仕立て by YUKO KIMOTO

子どもたちが描いた布で、3着のワンピースドレスができました。



3

刺繍と切り絵

そのドレスに、アトリエに集うみなさんが、刺繍や切り絵で模様を紡ぎました。刺繍は、日々食卓を彩る野菜をテーマに、切り絵はお花をテーマに制作していただきました。

刺繍 老人クラブのみなさん
切り絵 切り絵サークル「向日葵」のみなさん

WORKSHOP

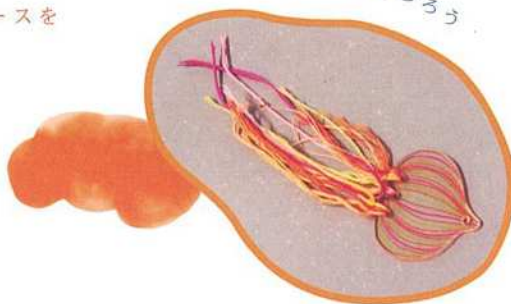
みんなで紡いで ドレスをつくろう！

展示期間中、開かれたアトリエのワークショップコーナーでワンピースドレスに装飾をしてみませんか？ワークショップコーナーには、プラバンや、布のはぎれ、刺繍糸やビーズ、安全ピンなど、たくさんの素材を用意しています。プラバンやビーズ、刺繍糸でアクセサリを作って、ワンピースを飾りましょう！展示期間中、ご自由に参加頂けます。

たとえば..
好きなやさいの
ブローチをつろう

企画担当 YUKO KIMOTO(デザイナー)と一緒にアクセサリ作りをしませんか？

日時 10月16日(日) 10時~12時
場所 開かれたアトリエ(亀岡市役所地下1階)
自由参加 参加費無料



お問い合わせ

かめおか霧の芸術祭実行委員会 事務局(亀岡市役所 文化国際課内)

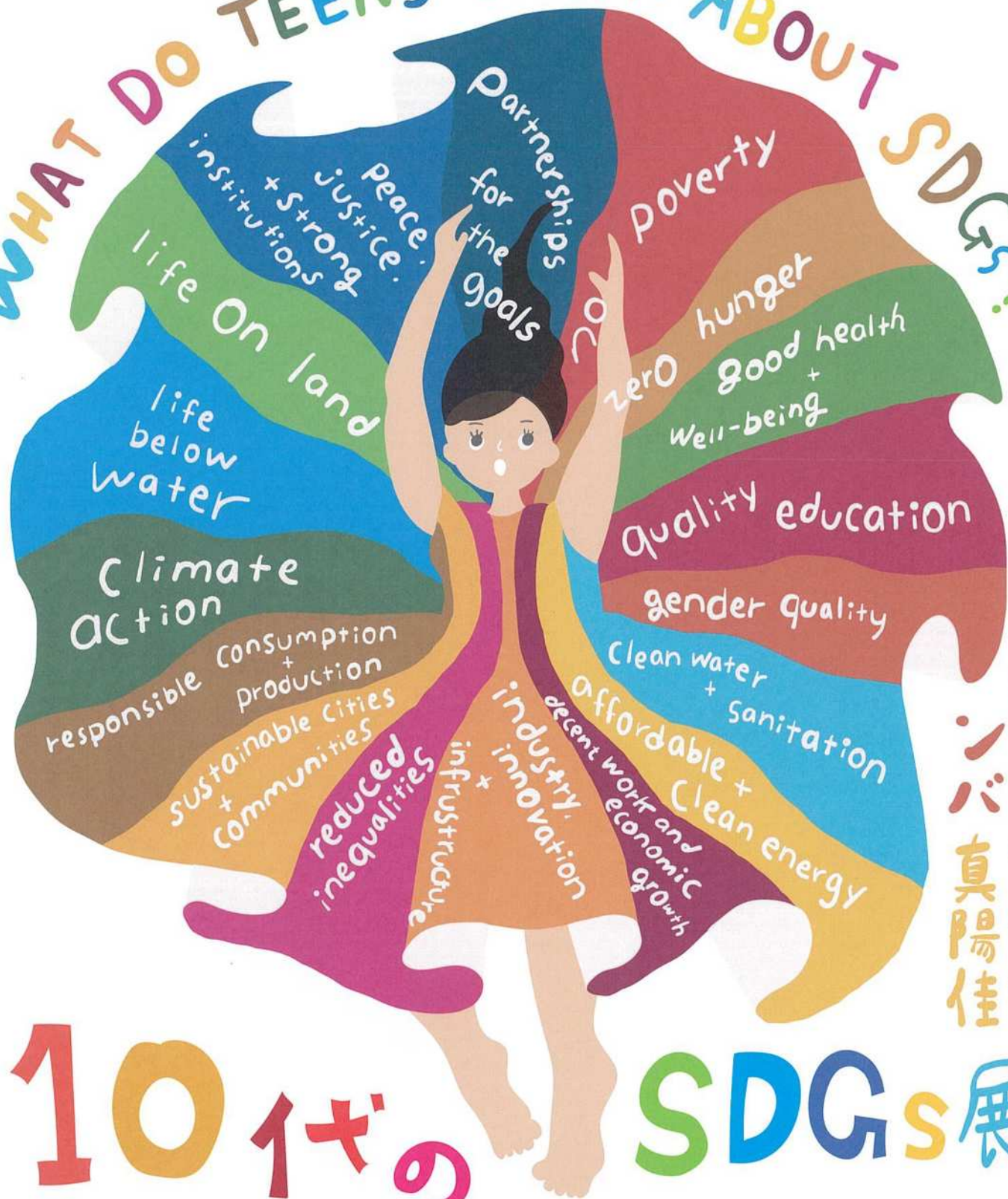
京都府亀岡市安町野々神8番地

TEL 0771-55-9655(直通) kirikameoka@gmail.com



Homepage facebook instagram

WHAT DO TEENS THINK ABOUT SDGs?



出展
 ンバ
 まよ
 真陽佳
 か

10イザのSDGs展

かめおか霧の芸術祭	SDGs	多文化	(一社) 亀岡青年会議所
日程 : 1/20(金) - 2/2(木) 9時 - 17時 会期中無休・入場無料	場所 : 亀岡市役所地下1階 「開かれたアトリエ」		
		令和4年度 文化庁文化芸術創造拠点形成事業	

今、10代の私たちが 考えるSDGsと未来

FOR THE BETTER WORLD



SDGsとは、国連が提唱した2030年までに世界中の国が達成すべき世界共通の目標です。

2030年、今高校生の私たちは20代半ばとなっています。社会人となり、地球で起こることに責任を持つ年齢となっています。すでに次の世代を担う子どもがいる人もいます。2030年にこの目標を達成し、よりよい社会となっているように、高校生の私達ができることを考えます。

世界共通の目標を達成するには、世界の国々と協働していかなくてはなりません。本展示では、世界各国の現状と、高校生の考えを発表します。

まよが
ンバ 真陽佳

2005年 枚方市生まれ
2011年～ 赤道ギニア共和国と日本(亀岡)を行き来して過ごす
日本滞在中は、南つつじヶ丘小学校、東輝中学校に通学
2021年 同志社国際高等学校入学
2022年 JCIジャパングローバルユース国連大使に任命



知ろう!
赤道ギニアって
どんな国?

どう違う?
日本と世界の
SDGsへの意識

見つけよう!
わたしたちの
身近なSDGs

会期中開かれたアトリエ併設の「アトリエカフェ」では、赤道ギニア料理を提供予定です!(詳細は今後SNSで告知します)

1 / 28 (土) 17時～

10代のSDGs × Wheel Chair Boys
～それぞれの視点～

Wheel
Chair
Boys

支援学校で出会った僕たちは、自分たちの音楽を通してたくさんのひとたちと繋がることを願います!

講演&音楽イベント 場所:開かれたアトリエ 入場無料 ・ 予約不要

17:00 ンバ真陽佳さんによる講演
「SDGsを通して、世界の高校生と国際交流」

SDGsトークセッション

登壇 : 桂川孝裕(亀岡市長)・高木超(亀岡市SDGsアドバイザー)
ンバ真陽佳・キモトユウコ(かめおか霧の芸術祭プランナー)

18:00 Wheel Chair Boys(ウィールチェア ボーイズ)ライブ



主催・お問い合わせ

かめおか霧の芸術祭実行委員会
事務局(亀岡市役所 文化国際課内)

京都府亀岡市安町野々神8番地
TEL 0771-55-9655(直通)
kirikameoka@gmail.com



ホームページ



facebook



instagram

NANNTAN

南丹高校3年生とSDGs

開かれたアトリエ

亀岡市役所地下1階

2/7(火)-2/16(木)

9:00-17:00

入場無料

会期中無休



かめおか霧の芸術祭
× 南丹高校3年生

facebook

文化庁 令和4年度文化庁文化芸術創造拠点事業

instagram



TEN



南丹高校3年生とSDGs

南丹高校の3年生が、

「総合的な探求の時間」で

身の回りのSDGsについて考え、

自分たちができることを

作品や映像として発表します。

制作物

ゴミゼロアウトドアポスター

「アウトドアを楽しむ時、海と山でのゴミのポイ捨てをやめてほしい」

おすすめ絵本紹介

「新米ママたちに、子どもに読んであげる本選びのヒントにしてほしい」

「子どもたちに絵本の楽しさを伝えたい」

SDGsバッグ

「コンビニでの買い物の際、うっかりエコバッグを忘れてしまったときに」

ペットボトルキャップをワクチンへ

「キャップ3800個で、1人分のおたふくかぜのワクチンに」

ゴミかかし

「空き缶でかかしをつくってみた!」

亀岡ジオラマ

「亀岡に来た観光客に、亀岡の魅力を伝えたい」

スマイルアゲイン

「子どもたちに、環境問題を絵本で楽しく学んでほしい」

かめマップ

「サイクリングならマスクなしでリフレッシュできる!」

外国人用ハザードマップ

「ハザードマップを外国の人たちにも分かりやすくし、皆に安心安全を」

さまざまな技術と作品

「レーザーカットや3Dプリンターなど、さまざまな機械を使ってできた作品」



映像

外来種駆除

「ジャンボタニシを料理してみた」

環境問題クイズ

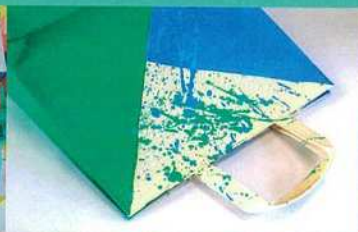
「知っていますか?環境問題の常識」

日本の音楽を海外へ

「出雲花風流を踊ってみた」

種蒔きドローン

「自分たちで作ったドローンで畑の種蒔きに挑戦」




主催・お問い合わせ

かめおか霧の芸術祭実行委員会
事務局(亀岡市役所 文化国際課内)

京都府亀岡市安町野々神8番地
TEL 0771-55-9655(直通)
kirikameoka@gmail.com

ホームページ





と 繋がる芸術祭



日時

2月19日(日)~2月26日(日)

9時~17時

会期中無休・入場無料

場所

開かれたアトリエ
(亀岡市役所地下一階)



と繋がる芸術祭

今年も亀岡高校美術・工芸専攻は、かめおか霧の芸術祭の様々な取り組みに参加してきました。

たくさんの刺激を受けた生徒たちが、それぞれの表現を模索し制作した作品を展示します。

【箱の中身を描いてみよう】

開催日:2月26日(日)

10:00~16:00

ボンボンマルシェVol.6

(at.市民ホール)

箱の中身を
触って、感じて、表現する
自分にしか感じ取れない
モノを絵に描いて
みんなと見せ合いましょう！



昨年度の展示風景

【作品出品者】

岡本和奏	加納初希
篠尾菜乃巴	福井日菜
田中愛美	菱田直央
藤田夢菜	湯浅心音
上繁野乃佳	丸山和夏
樺木華代	

【ワークショップ】

岡田彩希 小柴桃香

【広報】

堀田咲乃



かめおか霧の芸術祭実行委員会事務局(亀岡市役所 文化国際課内)

京都府亀岡市安町野々神8番地

TEL 0771-55-9655(直通)

kirikameoka@gmail.com

BOY
SCOUT
TRAINING
SQUARE



kameoka

〒687-0001 京都府亀岡市千代川町湯井南深谷

BTS

BOY SCOUT TRAINING SQUARE

BTS の紹介



技能訓練広場



工作物展示場



野鳥の森バードピア



展望台



看板

昨年7月より行者山登山口近くに野外活動訓練所を開設しました。

(住所: 亀岡市千代川町湯井南深谷)

看板と上に貼付けているようなシンボルマークやTシャツも作っています。

当初、行者山野外活動訓練所スカウト塾としてスタートしましたが、今では愛称の**BTS**が定着しています。

(**BTS: Boy scout Training Square** の略称)

BTSには、技能訓練広場、工作物展示場、野鳥の森バードピア、亀岡を一望できる展望台などがあります。

ボーイスカウトは月1回隊集会を実施していますがスカウト技能をより速く身につけ活動を楽しむことができるよう自由参加でBTSを定期開催しています。

(毎月第2日曜日午前9時～12時)

現在までに8回開催し、ロープ結び、キャンプで使う工作物づくり、地図・コンパスの使い方、手旗、自然観察(野鳥)、湯井地区の清掃奉仕などを行ってきました。

令和5年1月8日には、日本鳥類保護連盟京都様とボーイスカウト亀岡一団の交流会も開催いたしました。バードピアには、沢山の野鳥も訪れてくれています。時間が空いたときにでも是非お立ち寄りください。

BTS管理者

ボーイスカウト亀岡1団

団委員 山本 展男



まなびのわ

No.52

令和5年
3月号

編集：亀岡生涯学習市民大学運営委員会／発行：亀岡市・公益財団法人生涯学習かめおか財団
〒621-0806 亀岡市余部町宝久保1番地の1(ガレリアかめおか内)
TEL：0771-29-2701 / FAX：0771-25-5881 ホームページ：https://www.galleria.or.jp/

学長寄稿



「好きこそものの上手なれ」

黒川 孝宏 亀岡生涯学習市民大学学長

令和4年度の亀岡生涯学習市民大学は、「試練から喜びの明日へ～学んで知る気づきを見つけよう!～」をテーマにスタートしました。

「試練」とは、言うまでもなく新型コロナウイルスを巡る様々な制約を意味しますが、今年度は全ての講座と館外研修が実施でき、講師の先生・受講生・運営委員・関係者の皆様と共に、無事に乗り越えたことを素直に喜びたいと思います。

様々な講義を通じて「気づき」はあったでしょうか?それをカギとして読み解くことができれば、楽しくなりさらに知りたい好奇心が、深い感銘・感動への導きとなります。

「好きこそものの上手なれ」ということわざがあります。「好き」という感情は、「気づき」から始まる学びの意欲を格段に向上させるもので、ライフワーク・趣味となれば、なおさら熱心にアンテナを張り努力を積み重ねるので、ますます上達する好循環に繋がります。そのようにして得た知識は、人生の「力」ともなりうるのです。

来年度は「まなびのわ」の年輪が、早いもので、35番目の「輪」となります。市民大学では、引き続き運営委員会において、各分野のバランスを図りながら講師選定を進め、開学35周年記念の年にふさわしい講座を開催する予定です。

講座を通じて「好き」の感情を高めることができる生涯学習の場にしたいと考えています。皆様のご参加を心からよろしくお願い申し上げます。

市民大学とは

亀岡生涯学習市民大学は、市民が自発的に取り組む生涯学習として、学歴社会から学習社会への変革を具現化していく実践力養成の場です。

平成元年に開学し、生涯学習都市亀岡のシンボル講座として継続しています。共に学び共に生きる市民の学習の場として、未来を展望する講座を設けています。

3年ぶり全講座+館外研修を開催

今年度は、日本での「WITHコロナ」の意識が高まる中、市民大学も3年ぶりに「全8講座+館外研修」を開催し、無事に閉講式を迎えることができました。

==館外研修参加者のレポート紹介==

令和4年10月8日の館外研修で、JT生命誌研究館・恵解山古墳・勝龍寺・勝竜寺城公園を訪れました。

高槻市にあるJT生命誌研究館では案内者の説明を受けながら、細胞が持つゲノムから、生命の発生・進化・生態系を読み解く生き物の研究展示を見て、生命の不思議について思いをはせました。

その後移動し、安満遺跡公園で昼食。広い公園内のレストランでの食事は味も雰囲気もよく、その時間を楽しみました。

長岡京市の恵解山古墳では、ガイドより、乙訓地域最大の前方後円墳の由来や全国的に珍しい多量の鉄製武器の出土などの説明を聞き、勝龍寺・勝竜寺城公園でもそれぞれの歴史や光秀公との関わり、見るべき個所の説明を受けました。

9時から16時半頃までの館外研修でしたが、いつもの館内での講義とは一味違う形での学習がいっぱい、思い出多い研修となりました。



(JT生命誌研究館前にて、参加者集合写真)

来年度は、市民大学 開学35周年です

来年度は、亀岡生涯学習市民大学の開学から35年目を迎えます。それを記念して、特別講座などを企画しています。

詳細は、改めてご案内いたしますので、来年度の市民大学の「受講生募集」ポスターなどにご注目ください。

開講式・第1講座(314講) 6月25日

祇園祭の創始と変遷

～疫病退散の祭りから巨大都市祭礼へ～
八木 透さん 佛教大学歴史学部教授

日本を代表する歴史的都市祭礼の祇園祭は、悠久の時を超え幾多の変容をして継承されている。その変容の過程について解り易く解説されました。



●毎年祇園祭を何気なく見ている、疫病退散ぐらいの知識しかありませんでした。今回祭りの創始と変遷を7期に分けて説明頂き大変勉強になりました。お話に出てきた牛頭天王の事ももっと知りたくなったり、単純ではない鉾と山の違いを聞き、一つ一つをしっかりと見直したくなりました。八木先生のお話は大変分り易く面白かったです。

(大井町 上田早苗さん)

●コロナで祇園祭が中止になってから、祇園祭が疫病退散の祭りであるという以外詳しく調べる事はありませんでした。1150年前から平和な暮らしを願う人々の思いは変わらず、地域の祭りを守っていかうとする多くの人々の努力で、現在祇園祭も各地の祭りも行われている。亀岡祭りも今年行われるといいなと思います。

(南つツジヶ丘 岡田雅恵さん)



第2講座(315講) 7月23日

京の都の成り立ち

松本 伸之さん 京都国立博物館長

京の都・平安京の成り立ちと、東風文化から国風文化などに焦点をあて、貴重な歴史資料や美術工芸品を通じて都の文化の魅力や特質を語られました。



●地理的な話だけかと思って来たところ、東寺を始めとする仏教美術の写真や話もあり良かった。今回は平安時代まででしたが、続編として、その後の時代別の講義が聞きたいと思う。(江戸時代になったらどんな話になるのやら)ユーモア&分り易い話し方で、レジュメには無いためになるお話も多かった。昨今のコロナ事情により欠席するべきかもと悩みましたが、受講できて良かったです。(千代川町 匿名女性)

●都の成り立ちということで、もっと違った内容と思っていましたが、寺院で仏像を見る時や博物館で歴史的なものを見る時に参考になる内容が知れて、とても良かったです。仏像とひとくくりせず、時代、文化、その流れを汲んだものと思っで見られるようになることが市民大学を受講する楽しみだと思います。また後期の時代のお話も是非聞きたいと思いました。(本梅町 早田瑞美さん)

第3講座(316講) 8月20日

コロナの時代を生きる

～先人の経験に学ぶ～
松山 大耕さん 妙心寺退蔵院副住職

我々のご先祖様が様々な苦しみと戦ってきた歴史に今を生きるヒントが隠されている。歴史を振り返り、不安な時代をよりよく生きる方策を語られました。

●常に学びを忘れず、地域住民とのかわりを大切にして安心を与えておられるのがよく分かりました。正受老人の「一日暮らし」から、人生で一番大切な事は、今日ただいまの自分の心で、今ここにあるこの一刻のこの今を、どう生きるか、どう暮らすかを考えていきたいと思ひます。

(下矢田町 谷田和彦さん)



●もっと仏教の世界観とかの講義かと思っていましたが、仏教の教えを基に、大変分り易く面白く話されたのだと思ひました。自分の足で行きたいところに行き、自分の口で食べたいものを食べる。これこそが「自由」であるとの本来の意味。目からウロコでした。(西つツジヶ丘 匿名女性)

第4講座(317講) 9月24日

天気予報の活用と気象災害の備え

蓬萊 大介さん 気象予報士・防災士

テレビでの裏話や気象クイズなどを交え、気象予報を上手に活用するための知識や、防災に対する心構え・具体的な対策を分り易く解説されました。

●天気予報をどうやって行っているのかを詳しく知ることができました。観測にいろんな技術が使われている事、より精度が高くなってきた事が、これからの防災につながると思ひます。日頃、防災には気をつけ、避難所の所在地やハザードマップなど、把握しているつもりではいますが、改めて考える材料となりました。災害時における心理は改めないといけないと思ひます。早め早めの避難で命を守る行動をとりたいと思ひます。

(大井町 宅間公治さん)



●人の命を守るべき、日常の自然状況をよく見て注意しなければいけない事を解り易いお話・映像でとても良かったです。コロナ禍から守る以上に、自然災害から命を守ることは「自分だけは」と考えずに、皆で命を守ろうと思ひました。

(篠町 富士原俊行さん)



写真は、亀岡市のHPIに掲載されているハザードマップの例です。「洪水・土砂災害・地震」など地区別のハザードマップが提供されています。

令和5年(2023年)3月15日発行

第5講座(319講)

10月29日

紫式部の人生

山本 淳子さん 京都先端科学大学教授

紫式部がたどった人生の遍歴や、その時々
の思い、友情、恋、挫折、人としての成長
などについて、関係深い歌などを読み
ながら解説されました。



●大変分かり易い講義でした。源氏物語
を読んでみようと思いました。紫式部とい
う人物がああ物語を書いた理由、経緯も
判り、日本の文学の根底を知りました。世
界に誇る作品で、人間関係の心の中を
描いているのだと紫式部という作家を
通じて知ることができました。

(千代川町 匿名女性)

●いけずな紫式部のイメージが正反対
になりました。先生の講義を聞ける学生
さんたちは幸せですね。歌を詠む先生
の声が素敵で「朗読劇」を聞かせてい
ただいているように感じました。「源氏
物語」少しずつ読みたくなりました。

(西つづじヶ丘 匿名女性)

第6講座(320講)

12月17日

なぜ女性の落語家は少ないのか!?

～男でも女でもおもしろかったらええやん～
桂 二葉さん 落語家

落語「金明竹」を披露後、女性落語家の歴史、落
語・寄席の魅力、落語家の修行など、落語家になっ
てからのエピソードを含め軽妙に語られました。



●「金明竹」とても面白かったです。落語
家になったいきさつ、修行中の失敗談、す
ごく素直に喋って下さって爆笑しました。
男性社会で生き抜くことは厳しいことだ
ろうと思います。ジェンダー問題も含めて、
本音をさらりと話されて痛快でした。

(曾我部町 二階堂恵子さん)

●楽しい落語を聞くことができ、良かったです。初めて生で
落語を聞き、言葉だけで人を別の世界に連れていく芸に、
日本の文化の豊かさを思いました。二葉さんのお話の中で
印象的だったのは、男・女ではなく、誰もが幸せになる世界
を築いていかなければならないとお話でした。(匿名)



受講生アンケートの意見・感想欄
には、二葉さんへの多くの声援が
寄せられました

館外研修(318講)

10月8日

今回の館外研修テーマは、「地球の生
命」と「光秀公ゆかりの地」について学
ぶ!!と題して、JT生命誌研究館と長岡京
市にある恵解山(いげのやま)古墳、勝
龍寺および勝竜寺城公園を訪ねました



(勝竜寺城公園にて、歴史の学習風景)

第7講座(321講)

1月14日

コロナで実感!? 元気なうちにやって
おきたい介護と相続への備え

藪内 美樹さん FPオフィスライフ・カラーズ代表

不意な病(認知症など)により、周りの者が金銭面
等で困るケースに備え、介護と相続をテーマに、今
後の動向と対策のポイントについて解説されました。



●年長的に大変興味のある内容でした。
認知症のことが一番気になるのですが、
それまでしておかなければならないこ
とが多いと改めて思いました。知らないこ
とも多々あったので、大変参考になりま
したが、まだまだ理解できないこともあ
ったので、またこんな講座も開催してほ
しいです。

(旭町 匿名女性)

●盛りだくさんの内容を的確にわかりやすく説明してい
たき大変有意義でした。長生きの親をかかえ、親からの相続
と子への相続と両方の準備が必要だと感じています。また
機会がありましたらじっくりお聞きしたいと思う講座でした。

(南つづじヶ丘 匿名女性)

第8講座(322講)・閉講式

2月4日

保津川の風景

～四季から見る歴史と文化～

黒川 孝宏さん 亀岡生涯学習市民大学学長

身近に有り、接しながらも、意外に知らない「保津
川」の歴史、文化、自然、環境について、「保津川
学」として、写真を交え総合的に解説されました。

●保津川と筏-水運の関り、とても興味深く聞きました。歴
史と共に、人々の生活・経済にも変化しながら今日に続い
ていることを知ることができました。今日の講義だけでも、
深い深い意義というか存在価値があるのだらうと感じられ
ました。これから、保津川を見る目が変わると思います。

(南つづじヶ丘 匿名男性)

【閉講式】

閉講式では、黒川学長より受講生の皆様に「今年度、
無事に、全講座を開催できたことは、ひとえに皆様方
のコロナ対策に対するご協力があったからこそで、感謝し
ます」とのメッセージがありました。来年度も是非多くの
方の参加をお待ちしています。

オーボエってどんな楽器？

令和3年度の閉講式が終わった後の、令和4年3月19日に、特別音楽講座「オーボエってどんな楽器？」が響ホールで開催されました。

音楽講座は、多くの受講生に親しまれてきた講座ですが、コロナウイルス禍の影響と講師のご都合で、閉講式後の開催となり、改めてご紹介いたします。

講師はピアノの河野美砂子先生と、オーボエ奏者の高山郁子先生でした。講義の最初には貴重で室内楽として魅力ある、シューマンが作曲したオーボエとピアノのための曲の演奏・解説を頂きました。その後、オーボエに関わる色々な曲の演奏と解説を頂き、最後に友情出演の河野文昭先生も演奏に加わり、オーボエの魅力と音楽の素晴らしさを、受講生の皆さんが再発見した講義となりました。

今年度も、閉講後に「ブラームスはお好き？(ピアノ連弾による)」の開催を予定しています。



防災学習体験：京都市市民防災センター

今年度の第4講座で気象予報士の蓬菜さんが、「防災に対する心構えや具体的な対策の必要性」を講演されました。

それをきっかけに、運営委員有志で防災学習体験をしました。体験場所は、京都市市民防災センターです。

同施設には、先進のシミュレーションマシンから多彩な体験室があり、体験することで、防災意識が非常に高まりました。

今回の体験内容は、①過去の京都の災害→②地震体験室→③3Dシアター迫りくる地下街の洪水&水圧を受けた扉の開閉経験→④動画で知る土砂災害の恐怖。



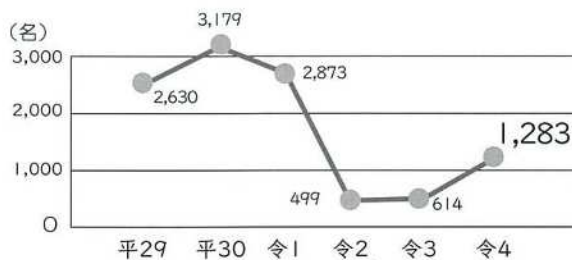
(写真：水圧下の扉開閉体験の様子)

数字で見る令和4年度の市民大学

今年度の市民大学は、新型コロナウイルス感染症拡大により、事前申し込み制とし定員を設け実施しました。

参加された受講生は、男性177名・女性265名で、合計442名でした。全8講座と館外研修の延べ受講者数は1,283名となりました。

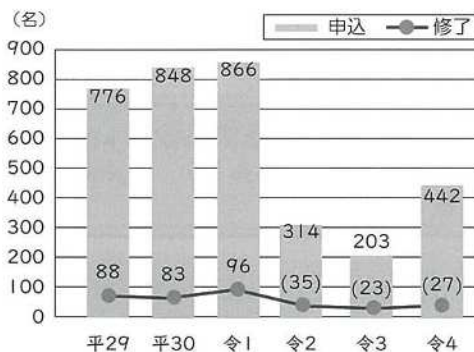
【年度別延べ受講者総数】



コロナの影響など、年度ごとで開催講座数が異なります

【年度別申込者数と修了者数】

今年度は全講座受講者への修了証の授与は行いませんでしたが、全8講座受講された方は27名でした。



市民大学講義記録 DVD 貸し出しのお知らせ

過去の講義で、講師の許可を得られた「講義ビデオ」を貸し出しています。貸し出しを希望される方は、ガレリアかめおか総合事務所にお問い合わせください。

貸し出し一覧表は市民大学の講座開催時に、ご用意していますので、自由にお持ち帰りください。

これまでに蓄積してきた貴重な財産である市民大学講義記録DVDを皆さんの生涯学習にご活用ください。

編集後記 今年度は、3年ぶりに全講座と館外研修を開催し、無事に閉講式を迎えました。「WITHコロナ」の生活が日常化して来ましたが、新型コロナウイルスは未だ多くの感染者を出しています。私達には、今までの感染対策を怠らず生活することが求められています。一方、今年度はロシアのウクライナ侵攻に始まり明け暮れた年度になり、紛争の痛ましさを今まで以上に感じる年となりました。災いはいつ身に襲い掛かるか判りません。皆さんと共に心して過ごしていきたいと思ひます。(福)

令和4年度 運営委員

委員長：長野 種直 相談役：廣崎 松雄

副委員長：谷田 和彦、福家 純一郎

委員

石野 淳士、後藤 才正、伊達 勉、

藤田 貞子、真崎 藤義、三宅 幸子、

山田 房子